

「もったいない」テーマの楽曲

五日市高校ESS国際交流部



大久野保育園の園児とミュージックビデオの撮影をする部員ら

サブスクで配信中

あきる野市の都立五日市高校ESS国際交流部（顧問・中村俊佑教諭）の部員7人とシンガーソングライター、羅久井俊介さん（同市五日市）が制作したオリジナルソング「MOTTAINAI」が2月23日、Spotify Y等の音楽サブスクリプションサービスで配信を開始した。

明るく曲調は「Yes!

Japanese unique words もったいないもったいないと思ふことのない世界を描こう」と思わず口ずさみたくなるキャッチーな歌詞を付けた。

同部は昨年2月、麗澤大学国際学部（千葉県）主催の「高校生プレゼンテーションコンテスト」で「地域から世界へ『もったいない』を世界に発信する高校生音楽プロジェクト」を発表。最優秀賞に選ばれた。

受賞後に楽曲制作を本格的に開始し、7月に完成。地域のイベントや文化祭等で披露しながら完成度を高め、

レコーディングを繰り返してきた。

部長の貫井麻妃さん（3年）と松本優菜さん（同）は「それぞれが考えるもったいなきいを盛り込みながら歌詞を作ることに苦労した。ようやく完成した曲を多くの人に聞いてほしい」と話す。

同曲および音楽プロジェクトは3月12日、一般社団法人未来教育推進機構主催の「SDGs 探究アワード2022」で1670作品の中から審査員特別賞に選ばれた。現在、日の出町の大久野保育園の園児や地域で活動する人たちの協力を得ながらミュージック



日の出町大久野
(有) 赤保谷鉄工場

クビデオの制作に取り組みしており、完成後はYouTube等で配信する予定。（鋤柄）